

4 講和録（第1～5回食育に関する調査研究会に於）

「学校給食における行事食」

日時 平成28年5月26日（木）
会場 （公財）福島県学校給食会
講師 福島県教育庁健康教育課 主任栄養技師 佐藤 三佳

学校給食における行事食

教育庁健康教育課
主任栄養技師 佐藤三佳

学校給食を生きた教材として活用した食育の推進

食に関する指導の手引き 第一次改訂版

(2) 給食の時間における食に関する指導の内容

(5) 食事と文化

(7) 郷土食、行事食を通して食文化について関心を深める

小学校低学年
季節や行事にちなんだ料理があることを知る

小学校高学年
特産物を理解し、日常の食事と関連づけて考える食文化について理解を深める

行事とは

恒例として事を執り行うこと。また、その事柄。儀式や催し物。(広辞苑)

民俗学の上では年中行事と通過儀礼とに分けることができる。

通過儀礼：人の一生に経験する誕生・青年・結婚・死亡などの儀礼習俗。

年中行事：宮中、1年の中に一定の時期に慣例として行われる公事。民間の行事・祭事にもいう。

3つの目標

食べる力

感謝の心

郷土愛

行事とは

恒例として事を執り行うこと。また、その事柄。儀式や催し物。(広辞苑)

民俗学の上では年中行事と通過儀礼とに分けることができる。

通過儀礼：人の一生に経験する誕生・青年・結婚・死亡などの儀礼習俗。

年中行事：宮中、1年の中に一定の時期に慣例として行われる公事。民間の行事・祭事にもいう。

栄養教諭の役割

学級担任との連携等により、意図的に各教科等の指導内容と関連した献立作成を行う

学級担任、教科担任、養護教諭等と十分連携を図り、学校の教育活動における様々な情報等を献立作成に反映させる

行事とは

恒例として事を執り行うこと。また、その事柄。儀式や催し物。(広辞苑)

民俗学の上では年中行事と通過儀礼とに分けることができる。

通過儀礼：人の一生に経験する誕生・青年・結婚・死亡などの儀礼習俗。

年中行事：宮中、1年の中に一定の時期に慣例として行われる公事。民間の行事・祭事にもいう。

年中行事

① 農業生活に由来する古くからあるもの

② 中国・朝鮮から伝えられた行事

③ 武士社会の生活から生まれたもの

④ 国家が制定した祝祭日・記念日

⑤ 欧米の習俗を受け入れたもの

⑥ 現代の社会組織に応じて生まれたもの

行事食とは ②

季節ごとの行事やお祝いなどの日に食べる特別の料理。行事食には家族の幸せや健康を願う意味がこめられている。

農林水産省HP 子どもの食育 より

主な行事と行事食 ①

4月

- 入学祝い [赤飯]
- お花見
- 8日 灌仏会/花まつり [甘茶]

5月

- 八十八夜 [新茶]
- 5日 端午の節句/こどもの日 [ちまき・かしわもち・たけのこご飯・カツオ]

主な行事と行事食 ②

6月

- 食育月間
- 1日 水の節日 [あられ・かきもち]
- 4日 虫歯予防デー
- 入梅 [梅]
- 30日 夏越の祓い

7月

- 土用の丑の日 [うなぎ]
- 7日 セタ [そうめん]
- 22日～24日 金津田島祇園祭
- 24日～25日 相馬野馬追

主な行事と行事食 ③

8月

- 食品衛生月間
- 13日 孟蘭盆/盆 [精進料理]

9月

- 食生活改善推進月間
- 9日 重陽の節句 [菊花酒]
- 十五夜 [月見団子・里芋]
- 敬老の日
- 秋分の日 [おはぎ]

主な行事と行事食 ④

10月

- 十三夜 [月見団子・栗・大豆]
- 体育の日
- 10日 目の日/目の愛護デー
- 31日 ハロウィン [かぼちゃ]

11月

- 「和食」月間
- 3日 文化の日 [菊花料理]
- 七五三
- 23日 勤労感謝の日

行事食とは ①

人生の節目や毎年の行事のときに食べる特別な食事が、先人たちが長時間かけて工夫を重ねてきた経験と技術が凝縮されたもの。

行事	時期	料理名
ひな祭り	春	ちらし寿司
端午の節句	夏	ぼたもち、ちまき
七夕	夏	そうめん
土用の丑の日	秋	うなぎ料理
月見	秋	かぼちゃおはぎ
秋の彼岸	冬	かぼちゃ
冬至	冬	年越しそば
大晦日	冬	おせち料理、雑煮
正月	冬	おはぎ

新しい技術・家庭 家庭分野(東京新聞刊)23年発行より

主な行事と行事食 ⑤

12月
・冬至【かぼちゃ・小豆】
23日 天皇誕生日
25日 クリスマス
31日 大晦日／年越の大祓【年越しそば】



主な行事と行事食 ⑥

1月
元旦【おせち料理・雑煮】
7日 七草／人日の節句【七草がゆ】
・鏡開き【汁粉】
・成人の日
10日 十日市
・大晦引き
15日 小正月【小豆がゆ】
20日 二十日正月／骨正月
・旧正月／春節
24日～30日 全国学校給食週間



主な行事と行事食 ⑦

2月
3日 節分【豆・いわし・恵方巻き】
10日 信夫三山咲まいり
11日 建国記念の日
14日 バレンタインデー【チョココレート】
3月
3日 桃の節句／ひな祭り【ひしもち・ひなあられ・はまぐりの雑汁・ちらしずし】
・春分の日【ぼたもち】
・卒業祝い【赤飯】



手づくり給食あれこれ






〈写真：南相馬市教育委員会〉

「行事食アンケートについて」

日時 平成28年 6 月30日（木）
 会場 （公財）福島県学校給食会
 講師 福島県教育庁健康教育課 主任栄養技師 佐藤 三佳

行事食アンケートについて

福島県教育庁健康教育課
 主任栄養技師 佐藤三佳

アンケート調査の目的

- ① 問題の発見
- ② 実態を表す指標の定量化
- ③ 問題に含まれる因果関係の確認と探索

アンケート調査の7つのタイプ

- ① 基礎的な統計資料を得るため
- ② 問題発見のため
- ③ 問題の原因や構造を解明するため
- ④ 問題の解決策を探るため
- ⑤ 問題の解決策を選択するため
- ⑥ 問題の解決策の実行可能性を探るため
- ⑦ 予測のため

調査項目の検討

調査項目＝調査で具体的に調べたい項目

調査目的が達成できる内容か

仮説を立てる

アンケート調査の2タイプ

- ① 仮説検証型の調査
- ② 事実発見型の調査

仮説検証型の調査

目的＝仮説の審議を調査データから検証

調査項目 ➡ 審議が検証できるように設定

調査の構造や原因が過去の調査や経験からある程度把握でき、これを仮説の形で示すことができる場合に可能な調査

事実発見型の調査

- 問題の構造や原因がよくわからない
- 問題があるのかどうかすらわからない

事実発見型の調査の実施

調査対象の活動実態や意識を明らかにする

調査項目 ➡ 問題に関連しているとと思われる項目を設定

今回の調査の目的は？

ユネスコ無形文化遺産「和食」；日本人の伝統的な食文化」とは
＝「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいた「食」に関する「習わし」

「和食」の4つの特徴

- (1)多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重
- (2)健康的な食生活を支える栄養バランス
- (3)自然の美しさや季節の移ろいの表現
- (4)正月などの年中行事との密接な関わり

質問の設定

- ・知っている行事食に○をつける（知識）
- ・その行事に食べる食事を記入する（知識）
- ・食べたことのある行事食に○をつける（経験）
- ・知識と経験を同時に調べる

	知っている	食べたことがある
七夕の「そうめん」	○	○
お正月の「おせち」	○	○

アンケート結果の活用についてイメージする

- 各行事食の認知度が違う？
 - ・七夕に「そうめん」は30%が知っている
 - ・正月の「おせち」は95%が知っている
 - ・一学年ごとでは？ 方別別では？
- 知っている「行事食」と食べたことのある「行事食」は同じ傾向？
 - ・大晦日の「年越しそば」は90%が知っている
 - ・前分の「重労働」は80%が知っている
 - ・60%が食べたことがある

行事とは

- ・恒例として事を執り行うこと。また、その事柄。儀式や催し物。（広辞苑）
- ・民俗学の上では年中行事と通過儀礼に分けることができる。
- ・通過儀礼：人の一生に経験する誕生・青年・結婚・死亡などの儀礼習俗。
- ・年中行事：宮中、1年の中に一定の時期に恒例として行われる公事。民間の行事・祭事にもいう。

調査票での「行事食」の設定

- ・日本の伝統的な年中行事に関わる行事食
- ・広く一般に行われている行事に関わる行事食

調査対象者の設定

- 調査対象：委員が所属している学校**
- ・全児童・生徒にする
 - ▼小学校低学年から中学生まで、一様に理解できる質問内容とする必要がある
 - データが多くなり、結果を活用しやすい
 - ・学年を指定する
 - ▼データが少なくなるため、結果の活用が狭まる
 - 指定した学年に合わせた質問内容を設定しやすい

「食育としての行事食の効果的な進め方」

日時 平成28年9月21日（水）
会場 （公財）福島県学校給食会
講師 福島県教育庁健康教育課 主任栄養技師 佐藤 三佳

食育としての行事食の効果的な進め方

福島県教育庁 健康教育課
主任栄養技師 佐藤 三佳

本日の内容

- 食育における行事食
- 食育としての行事食の効果的な進め方

食育における行事食



第3次食育推進基本計画

- 目標
- 13 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えていく国民を増やす
- ⑬地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合
- ◆現状値(27年度)：49.6%
 - ◆目標値(32年度)：60%以上

学校給食での郷土料理等の積極的な導入や行事の活用

- ・我が国の伝統的な食文化について子供が早い段階から興味・関心を持って学ぶことができるよう、学校給食において郷土料理等の伝統的な食文化を継承した献立を取り入れ、食に関する指導に活用されるよう促進する。
- ・また、「和食給食師援助」のように料理人が地元産の農産物等を使用した和食給食の献立の開発や和食の調理指導等を行い、児童と一緒に給食を食べながら食文化の大切さを伝えていく取組を通じて、「和食」の継承を推進する。

学校給食での郷土料理等の積極的な導入や行事の活用

- ・さらに、地域における祭礼行事や民俗芸能等に関する伝統文化の保存団体等が実施する食文化に係る取組を促進し、我が国の伝統ある優れた食文化の継承を推進するとともに、全国各地で開催する行事等において、我が国の伝統ある食文化、地域の郷土料理や伝統料理等の紹介や体験を盛り込み、多くの国民がこれらに触れる機会を提供する。その一環として、毎年度開催している国民文化祭を活用し、地域の郷土料理や伝統料理、その歴史等を全国に発信する。

ふくしまっ子食育指針

- ・「食べる力」
- ・「感謝の心」
- ・「郷土愛」
- ・家庭の味を知る。
- ・日本型食生活のよさを理解する。
- ・地域の郷土食や行事食を知り、受け継ぐ。
- ・浜通り・中通り・会津の三地方それぞれの豊かな食材と季節感あふれる食を知り、味わう。

地域の郷土食や行事食を知り、受け継ぐ

- ・自然や地域と食べ物とのかかわりに関心を持つ。
- ・地域の食材のよさを知り、郷土食や行事食を味わう。
- ・地域の食文化に関心をもち、先人の知恵を学び継承しようとする。

浜通り・中通り・会津の三地方 それぞれの豊かな食材と季節感あふれる食を知り、味わう

- ・三地方の豊かな食材と季節感あふれる食に関心をもつ。
- ・ふくしまの気候・風土に根ざした食文化を理解する。

食育としての行事食の効果的な進め方



食育としての行事食の効果的な進め方

- ・給食献立計画
- ・給食の時間における食に関する指導の計画
- ・各教科等における食に関する指導の計画

関連づけを積極的に図る

行事食の趣旨や地域産物の活用を明確に示したり、他の教員に情報提供をするなどの取組

食育としての行事食の効果的な進め方

- ・関連する教科等との関わり
- ・学級活動及び給食の時間における指導資料の提供
- ・給食委員（児童生徒）との関わり
- ・家庭に対する情報提供

具体的な事例について

「学校給食に行事食を取り入れる意識と課題」

日時 平成28年10月6日(木)
 会場 (公財)福島県学校給食会
 講師 福島県教育庁健康教育課 主任栄養技師 佐藤 三佳

学校給食に行事食を取り入れる意識と課題

教育庁健康教育課
主任栄養技師 佐藤三佳

学校給食と行事食

- ・国、地域の伝統的な食文化について子供が早い段階から興味・関心を持って学ぶことができれば、学校給食が位置づけられている。(第3次食育推進計画)



行事食を取り入れる意識

- 伝統行事とその特別な食事を知る
- 食事にも込められた伝統・思いを知る
- 食・味覚の体験の幅を広げる

行事食を取り入れる意識

- ハレの日の食事を経験する
- 給食委員等による活動の場を広げる
- 調理員の意欲を高める





課題

- 各教科等との連携
- 児童への工夫
- 学校給食への効果的なアプローチ

